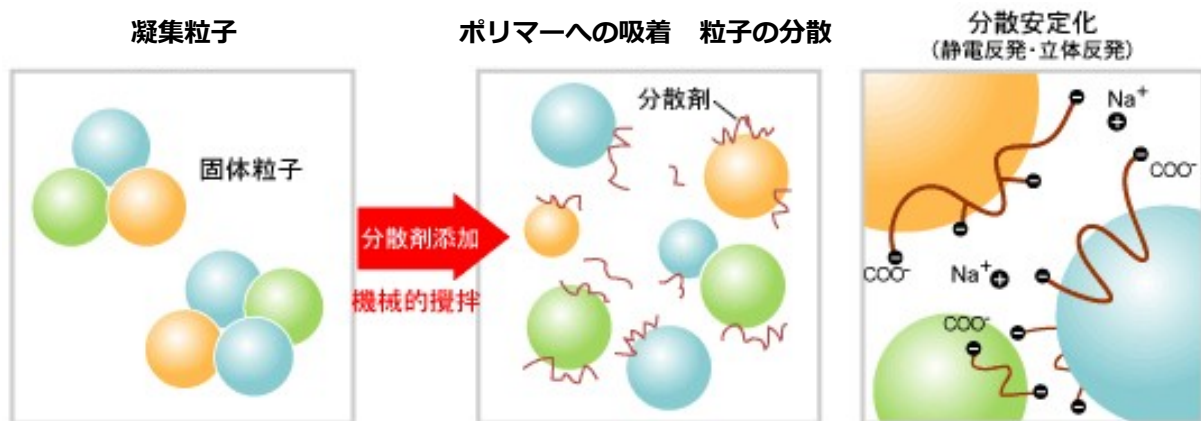


各種の無機顔料を高濃度かつ低粘度の水性分散体にするために、分散剤が広く使われています。当社では、高機能で汎用性の高いポリアクリル酸系分散剤の開発に取り組み、多様な無機顔料に対応した水溶性アクリル酸系分散剤を上市しています。

1. 特徴

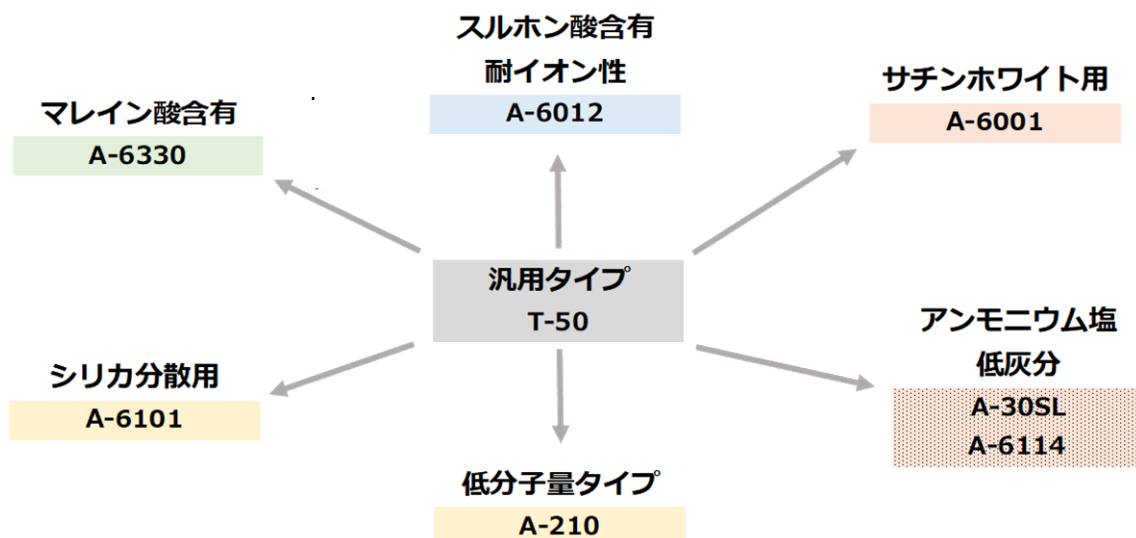
水溶性アクリル酸系分散剤は、カルボキシル基やスルホン酸基を含み、顔料に対する吸着や電離による静電反発力に関して優れた性能を有しています。スルホン酸基を含むグレードは耐イオン性に優れ、さらにより広いpHで使用可能です。

2. 分散機構



- (1) 顔料表面に吸着し液体（水）となじませる。【ぬれ】
- (2) 機械的作用を加え、顔料凝集体を分散・摩砕する。【微粒化（一次粒子化）】
- (3) 静電反発・立体反発による粒子の再凝集の防止、沈降生成の抑制。【分散安定化】

3. アロングレード相関



4. 製品ラインナップ

形態	品名	性状				組成	特徴	用途例	
		固形分 % (粉末品は 乾燥減量%)	粘度 mPa·s/25℃ (水溶液濃度、 温度：粉末品のみ)	pH (水溶液濃度)	分子量 Mw				
アロン	水溶液	T-50	43±1	500~1,000	7~9	6,000	ポリアクリル酸ナトリウム	炭酸カルシウムの 分散性良好	汎用タイプ、洗剤ビルダー、 スケールコントロール剤
		A-10SL	40±1	40~150	0~2.0	5,000	ポリアクリル酸	低分子量タイプ	顔料分散剤、スケールコントロール剤
		A-210	43±1	50~200	7~9	2,000	ポリアクリル酸ナトリウム	低分子量タイプ	顔料分散剤、スケールコントロール剤
		A-6001	40±1	300~800	7~9	7,000	カルボン酸系共重合体 (ナトリウム塩)	疎水性部位あり	サチンホワイト用
		A-6012	40±1	100~350	7~9	10,000	スルホン酸系共重合体 (ナトリウム塩)	陽イオン性タイプ	サチンホワイト用
		A-6330	40±1	200~600	7.5~8.5	10,000	ポリカルボン酸ナトリウム	高酸価	微粒子顔料用 (~0.1µm)
		A-30SL	40±1	40~150	7~9	8,000	ポリアクリル酸アンモニウム	低灰分	主にセラミックス用
		A-6114	40±1	40~150	8~9	8,000	カルボン酸系共重合体 (アンモニウム塩)	低灰分	主にセラミックス用
		A-6101	51±1	600~2,200	2.5~4.0	5,000	ポリカルボン酸系	疎水性部位あり	多孔質シリカ用
ジュリマー	水溶液	AC-10SL	40±1.5	<100	1.5~2.5(1%)	3,000	ポリアクリル酸	低分子量、各種顔料に対する 分散性良好	受注生産品 各種顔料
		AC-103	40±1	300~500	8.0~10.0(1%)	7,000	ポリアクリル酸ナトリウム	金属イオンに対するキレート作用	顔料・染料分散剤、塗料原料分散剤、 洗剤ビルダー、スケールコントロール剤
	粉末	AC-10P	7%以下	100~300 (40%)	2.0~3.5(1%)	10,000	ポリアクリル酸	アルコール類に可溶、 中相剤が選択可能	顔料バインダー、 マイクロカプセル用助剤、 金属鋳造用砂バインダー、 樹脂改質反応用、不定形耐火物分散剤
		AC-10NPD	7%以下	100~300 (40%)	8.0~10.0(1%)	6,000	ポリアクリル酸ナトリウム	低起泡性良好	顔料分散剤、スケールコントロール剤、 ホイラー清缶剤、不定形耐火物分散剤、 石膏凝結硬化遅延剤

5. 適応顔料表

分散剤/顔料	クレー (カオリン)	重質 炭カル	軽質 炭カル	水酸化 アルミニウム	酸化 チタン	サチン ホワイト	セラミックス	シリカ
T-50	○	○	○	○	○	○		
A-210	○							
A-6001						○		
A-6012						○		
A-6330		○	○		○			
A-30SL							○	
A-6114							○	
A-6101								○

6. 注意事項

法令を遵守し、弊社MSDSをご参照の上、ご使用ください。



ポリマー・オリゴマー事業部 ポリマー一部

本社営業部 〒105-8419 東京都港区西新橋1-14-1

TEL:03-3597-7337

大阪支店 〒530-0005 大阪市北区中之島3-3-3

TEL:06-6446-6564

名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1-4-6

TEL:052-209-8593

作成:2010年1月5日

改訂:2024年6月

ここに掲載されている内容は細心の注意を払って行われた実験事実に基づくものですが保証値ではありません。